

クラスの様子【3月号】

●ひよこ組 **今月の目標** 他者との関わりを楽しみ、関係を深めていく。

2月は胃腸風邪の流行、休園により保育園で過ごす時間が少なかった子も多い1ヶ月となりました。保護者の皆様におかれましても感染拡大予防へのご協力ありがとうございました。園での過ごし方も感染予防のためクラスを分かれて生活することも多く、子ども達は普段と異なる生活、活動に少し戸惑いながらも今までは違う場所での生活を楽しんだり、少人数で動いていたからこそその活動や、保育士・お友達との関わりを普段よりもゆったりと楽しむこともできたように感じ、どんな環境も捉えようによっては良い機会となることを今回改めて感じました。ひよこぐみとして生活するのも残すところ1ヶ月となりました。進級への意識も持ちつつも残されたひよこぐみとしての時間を子ども達と保育士と一緒に大切に過ごしていきたいと思います。(安田)



●りす組 **今月の目標** 1つ大きくなることを楽しみに様々なことを経験できるようにする。

2月は体調を崩す子どもも多く、体調面や感染症に十分気を付けてきました。遊ぶコーナーや食事の場所、午睡の場所などを2つに分け、少人数で過ごし、落ち着いて遊ぶことができました。グループがわかることによって子ども同士の関わりの中で、自分たちで遊びを広げたり、困っている子に対して自分から手伝いをしてくれたり、今までは少し違った姿も見ることができました。身辺整理では指先を使う経験ができるよう、帽子を洗濯ばさみでとめて、吊るしておくようにしました。自分でできる子や難しく保育士に助けを求めにくる子など様々です。一緒にしていく中で少しずつ経験ができればと思います。りすぐみで過ごすのも残り1か月となりました。1つ大きいクラスになることへの期待や楽しみを持てるよう日々の生活の中で、自分でしようとするを大切に見守ってきたいと思います。(平塚)



●うさぎ組 **今月の目標** いろんなことに挑戦し、進級への期待感を持つ。

今年度も残りわずかとなりました。最近の子ども達は友達との関りも増え、子ども達だけで遊びが進んでいく様子が見られます。以前は保育士に話しかけたり遊びに誘ったりすることが多くありましたが、友達を誘ったり、自然と子ども同士の輪が広がり、そんな関わりを見ていると大きな成長を感じます。友達関係だけでなく、生活面でも少しずついろいろなことに自分で気付いて取り組めるようになってきました。戸外に行く前には、自分でトイレに行ったり、上着を着ようとしたり、保育士がひとつひとつ声を掛けなくても出来るようになりました。



また、ある日の手洗いの時には、お友達が上手く蛇口を開けることが出来ず困っていたら、さっと開けてあげたり「ありがとう」と声を掛けていて、そんな優しい姿も日々の生活の中でたくさん見られ、とても心があたたかくなります。

そんな優しいうさぎ組の子ども達も、もうすぐ年少さんです。新年度に向けて、期待感を持ち少しずついろいろなことに挑戦して準備をしていながらも残りのうさぎ組での日々を大切に過ごしたいと思います。(鈴木)



クラスの様子【3月号】

●年少組 今月の目標 自分で出来ることを増やしながらか進級への喜びを感じる。

今年度も残りあとわずかになりました。1年間を振り返ると一人一人がたくましく成長したんだなと感慨深くなります。感染予防対策として、年齢別で過ごすことも多くなりました。はじめは、環境の変化に不安そうにしている子もいましたが日に日に安定した生活を送れるようになってきました。そんな中で”手伝って“という声が多かった身辺整理も、自分でできることは一人で取り組んでいくうちに“ひとりでできたよ”と自分でできることが増え自信へとつながっていきました。日々の生活の中で子ども達の成長を感じとても嬉しく思います。遊びでは好きなコーナーに夢中になったり、お友だちとの関わりも増え、誘い合いながら遊ぶことが多くなってきました。いろんなお友だちと関わりながらひとつ大きくなる喜びを感じ、これからも一日一日を大切に子ども達と過ごしていきたいと思ひます。(矢下)



●年中組 今月の目標 進級する事に期待を持ち、自分から色々な事やってみようとする。

あつという間に一年が過ぎ、いよいよ年中として過ごす最後の月になりました。子ども達に「もうすぐみんなは何組になるの?」と聞くと、「ライオンさん!」と嬉しそうな顔で答えが返ってきます。この一年で子ども達は心身共に逞しく、大きく成長しました。先月は、「座って集中して取り組む時間を少しずつ増やしていこう」というねらいで塗り絵をする機会を多く作りました。これまでも好きな子は製作コーナーで楽しんでいましたが、あまり興味がなかった子も恐竜や昆虫の図柄を取り入れたところ張り切って取り組むようになりました。また、マンダラの図柄も人気があり、自分なりに色の法則を作って色分けするのを楽しんでいます。そんな中でも塗り絵をしながら「名前書いたるか?」と文字が得意な子はお友達のプリントに名前を書いてあげようとし、書いてもらう子も「〇(一文字)なら書ける!」と一緒に名前を書こうとするやりとりがあったり、鉛筆の持ち方を教えあう姿が見られたりと成長が感じられる場面がいくつも見られ、とても嬉しく感じます。先日は、もうすぐお別れする年長さんに贈るプレゼント作りをしました。「今まで年長さんと一緒にどんな事をしたかな?どんな事をしてもらったかな?」と問いかけ、「心を込めて作ろうね」と話をすると、「〇〇ちゃんはこんな髪の毛しとる…」と一生懸命思い出しながら似顔絵を描いたり、「〇〇君は何色が好きかなあ?」と悩みながら作ったりとそれぞれに贈る相手の事を思い浮かべながら取り組んでいました。お別れする寂しさとお新生活への期待を感じながら、みんなで一日一日を大切に過ごしていきたいと思ひます。(キム)



●ライオン組 今月の目標 就学前に向けて期待を膨らませながら自分で考えて行動できるようにする。お友達や保育士と一緒に残り少ない保育園生活を楽しむ。

保育園で過ごすのも後一カ月となりました。ライオン組になったばかりの頃は、話が静かに聞けなかったり、「できやん、先生やって」と、困ったらすぐに保育士を頼る姿がありました。この一年間で子ども達は周りをよく見て行動したり、友達同士で考えてやってみたり、気付いたら行動する、そんな姿に成長していきました。外では、「ドッジボールしたい人集まって!」「鬼ごっこしよ、鬼どうやって決める?」「リレーしよ!どうしたら勝てるか相談しよ」など、意欲的に遊んでいます。また、保育士がいなくてもルールのある遊びを自分達で進めていけるようになりました。困った時は自分達で話し合っ解決する力も少しずつ身につけてきました。また、鉄棒や縄跳びに挑戦し、毎日コツコツ頑張っ練習し一生懸命に取り組む子ども達の姿はとても印象的でした。出来なかったことも頑張ったら出来るんだということを経験し自信がついたように思ひます。また、自分よりも小さいお友達が困っていると優しく声をかけたり、助けてあげたりする姿も見られ成長した姿を嬉しく思ひます。今年もコロナウイルスの影響が続き、子ども達が経験できなかったこともあり悔しさがありました。そして保護者の方にも子ども達の姿を間近でじっくりと見たり感じたりする機会が少なく、残念な思いをされたことだと思ひます。それは私達も同じ気持ちです。ですが、子ども達と考え作り上げた夏祭り、お泊り保育が出来なかったのでお楽しみミッション、特別おやつパーティー、県民の森にお出掛けをしたことなど、他にも子ども達と過ごしてきた楽しかった思い出は沢山あります。こんな時期だからこそ深まった絆もあります。手洗いうがい、消毒、いつも気をつけることが自分だけではなく友達を守ることに繋がることを知ったり、皆と一緒に歌を歌ったり、楽しく会話をして食事をしたりと当たり前のことが尊いことなんだと気づかされる日々でした。残り少ない日々をみんなが元気に登園し、楽しく過ごせる一カ月となることを祈り務めていきたいと思ひます。そして小学校生活を意識できるようにしていきたいと思ひます。(田畑)

